

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会

事務局から、委員12人のうち8人が出席し、過半数に達していることから、「いわき市男女共同参画推進条例」第21条第2項の規定により、本会議は成立することの報告があった。

2 会長あいさつ

田中会長からあいさつがあった。

- ・本日の会議では、主に、市が実施した各種アンケート集計・分析結果や国の第6次男女共同参画基本計画の内容も踏まえて、ご意見等をいただくようになる。
ご協力よろしくお願ひしたい。
- ・また、次回以降（令和8年度）のスケジュールについては、後ほど事務局より説明があると思うが、プラン策定年度に入るので、引き続き、ご協力よろしくお願ひしたい。

3 いわき市男女共同参画推進アドバイザーあいさつ

岡部アドバイザーからあいさつがあった。

- ・3月13日に閣議決定された国の第6次男女共同参画基本計画を参考にできるが、県の男女共同参画計画の改定より早く市の計画改定となるため、市民意識調査アンケート結果から、市の課題解決につながる計画策定となるよう本審議会でも話し合いを進めていけたら。
- ・なお、県は今年度から担当課名が「共生社会・女性活躍推進課」となり「女性活躍」、そして「アンコンシャスバイアス」の意識啓発、とりわけ男性の家事育児推進の「とも家事」に注力している。

4 議事録署名人について

名簿順により、議事録署名人は小椋委員と佐々木委員に決定された。

5 会議の公開について

事務局から、本会議は公開であること、及び傍聴人がいないことの報告があった。

6 報告事項

「いわき市男女共同参画推進条例」第21条第1項の規定により、田中会長が議長となった。

事務局から、

○ 報告「令和7年度 男女共同・多文化共生センター事業の主な実施結果」について

⇒ 資料とスライド（投影）により説明があった。

※質疑応答はなかった。

7 議事

○ 議事(1) 男女共同参画に関する各種アンケートの集計・分析結果等について

○ 議事(2) 令和8年度スケジュール等について

⇒ 配布資料及びパワーポイントによるスライド投影により、議事(1)・(2)についての説明が、次のとおり事務局よりあった。

- ① 各種アンケート集計・分析結果等に係る要点の説明
- ② 令和8年度スケジュールについて
 - ・令和8年度第1回審議会：5月29日(金)午後（於：市文化センター）
 - ＊市長から審議会への諮問後に、第1回審議会を開催
 - ・令和8年度は計4回開催予定（うち1回程度：書面開催の可能性もあり）
- ③ 今回のアンケート結果や国の6次計画を踏まえ、第5次プランに反映すべき新たな視点や考えなどを、意見書もしくは任意様式で、4月24日までに、メールまたはFAXでいただきたい旨依頼

【委員】

- 高校生アンケートに係る「特別支援学校」の回答数について
 - 手持ちデータないため、後ほど確認次第、改めてお知らせする旨、回答。
 - （確認結果）＊会議後伝達
 - ① いわき支援学校高等部（2年生） 回答者数8名（在籍20名）
 - ② いわき支援学校くぼた校（2年生）回答者数11名（在籍13名）

【委員】

- スライド49～50 関係（高校生アンケート：問3 関係）
 - 高校生アンケートに係る「男女平等感」について
 - 「学校生活」、「家庭生活」、「法律や制度」、「社会全体」の各分野における男女の認識の違いなど。
 - 例えば、「法律や制度」においては、
 - 男性は「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」16.3%に対し、
 - 女性は「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」15.5% など。
 - また、「社会全体」においては、
 - 男性は「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」17.8%に対し、
 - 女性は「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」24.7% など
 - ⇒ 「どちらかといえば異性が優遇されている」と捉えられる部分もある。
- スライド58～59 関係（高校生アンケート：問10 関係）
 - ・ 高校生の性被害多い。
 - ・ 今見ると、セクハラの種類をもっと細分化するなど、よりわかりやすい形で、アンケートできたかなと思った。

【委員】

- スライド62 関係（高校生アンケート：問13 関係）
 - 体の性、心の性または性的指向の違和感や悩んだりしたことがあるかの問いに対し、「答えたくない」と回答した方の割合（8.9%）にも着目する必要がある。
 - この部分の読みとき方に留意する。
- スライド64 関係（高校生アンケート：問18 関係）
 - 当事者の視点での設問ではないため、当事者の意見をもう少し伺うこともできれば、なおよかったと思う。

①の回答では「相談しやすさ」、③の回答では「行政の旗振りへの期待」がうかがえた。

【委員】

● スライド 22 関係（市民アンケート：問 18 関係）

今後もっと女性が増えた方がよいと思う職業で、政治家（議員・首長）があがるのは、よく話になるトピック。いわき市としても、政治家のロールモデルを発信する取組みがあればよい。

● スライド 35～36 関係（市民アンケート：問 29 関係）

女性や乳幼児に配慮した防災マニュアルの整備・避難所設備の確保の必要性については、震災のときに可視化されたと思う。様々なマイノリティに配慮する視点も必要。

【委員】

● スライド 33 関係（市民アンケート：問 28 関係）

性的少数者（マイノリティである当事者）が生きづらい中で、当事者でないマジョリティの視点での設問になってしまっている（マジョリティがマイノリティにという設問（構図）になってしまっている。）

私たちに何ができるのか考えさせる。小さな積み重ねも大事。

【アドバイザー】

● マジョリティとマイノリティについて

- ・委員の「マジョリティとマイノリティの視点」のご指摘は大変重要。
- ・県男女共生センターでもセクシュアルマイノリティ理解の事業を実施しており、市事業でも活用いただきたい。
- ・当センターとして計画改定に向けて情報提供等もしていきたい。

【委員】

● どこに光を当てるのか。言えない人（声を上げづらい人）に光を当てる視点も必要。

● 市民アンケートの回答者について公務員が4割を占めていることもあり、一部意見が偏っている部分もあるかもしれないということも念頭に。

【委員】

● アンケート結果等の情報公開の範囲について

今回のアンケート結果報告書の公開範囲を確認したい。

（事務局回答）

様々な観点を踏まえ、総合的に判断していく。

【委員】

● 学校での制服の選択制について

情報紙 Wing でも取り扱っていただいたこともあるが、子が通う学校で制服が変わる予定である。しかしながら、よく聞いてみたところ、女子生徒の制服だけが変わり、男子生徒の制服は変わらないことがわかった。どちらか一方だけだと、誰もが選べる社会にはならないのではないかと感じたところ。学校側（教育現場）にも、本来のメッセージをお伝えしたい。

8 閉会